新旧対照表

	市域の土地の利田に関する其木構相
<u> </u>	主持の土地の利田に聞きて甘土田和

(略)

第2 市域の土地の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標及びその地域別の概要

旧(現行)

1 土地の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標(略)

土地の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標

(単位: h a)

		平成 30 年	令和 12 年	
	利用区分	2018年	2030年	増減率
		(実績)	(目標年次)	
農地	也	820	803	<u>-2. 1%</u>
森林	木	2, 328	<u>2, 328</u>	<u>0.0%</u>
原野	野等	33	33	0.0%
水面	面・河川・水路	109	109	0.0%
道路	名	430	444	
	一般道路	358	372	3.8%
	農道	65	65	0.0%
	林道	7	7	0.0%
宅地	也	1, 126	1, 129	
	住宅地	818	818	0.0%

新(改定案) 第1 市域の土地の利用に関する基本構想

(略)

第2 市域の土地の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標及びその地域別 の概要

1 土地の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標 (略)

土地の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標

(単位: h a)

	平成 30 年	令和 12 年	
利用区分	2018年	2030年	増減率
	(実績)	(目標年次)	
農地	820	<u>797</u>	<u>-2.8%</u>
森林	2, 328	<u>2, 318</u>	<u>-0.4%</u>
原野等	33	33	0.0%
水面・河川・水路	109	109	0.0%
道路	430	444	
一般道路	358	372	3.8%
農道	65	65	0.0%
林道	7	7	0.0%
宅地	1, 126	<u>1, 145</u>	
住宅地	818	818	0.0%

	工業用地	59	<u>62</u>	<u>5. 3%</u>
	その他の宅地	249	249	0.0%
その他		1, 356	1, 356	0.0%
合計		6, 202	6, 202	0.0%

(略)

第3 「第2」に掲げる事項を達成するために必要な措置の概要

1 総合的な措置

(略)

2 基本方針の措置

(略)

- 3 利用区分ごとの措置及び有効利用の促進(略)
- 4 「第2」に掲げる地域区分ごとの整備施策の概要(略)
- (2) 北上地域

(略)

ウ整備・集積系区域

(略)

《工業集積ゾーン》

沢地工業団地を含む沢地地先の一帯については、周辺の自然環境との調和 を図りながら、流通業務施設や研究施設、工場などを適正に誘導し、地域経 済の振興を促進していきます。

	工業用地	59	<u>78</u>	<u>32. 2%</u>
	その他の宅地	249	249	0.0%
その	の他	1, 356	1, 356	0.0%
	合計	6, 202	6, 202	0.0%

(略)

第3 「第2」に掲げる事項を達成するために必要な措置の概要

1 総合的な措置

(略)

2 基本方針の措置

(略)

- 3 利用区分ごとの措置及び有効利用の促進 (略)
- 4 「第2」に掲げる地域区分ごとの整備施策の概要 (略)
- (2) 北上地域

(略)

ウ 整備・集積系区域

(略)

《工業集積ゾーン》

沢地工業団地を含む沢地地先の一帯<u>及び三島萩インターチェンジに近接する芙蓉台東側の徳倉地先</u>については、周辺の自然環境との調和を図りながら、流通業務施設や研究施設、工場などを適正に誘導し、地域経済の振興を促進していきます。

(略)

(4) 中郷地域

(略)

ウ 整備・集積系区域

(略)

《工業集積ゾーン》

長伏・松本地区の一帯<u>及び</u>国道 136 号西側の県道清水函南停車場線沿道 については、<u>今後も</u>工場、流通業務施設などの集積を図るとともに、住宅 との混在状況の整序・改善を図っていきます。

(略)

(略)

(4) 中郷地域

(略)

ウ整備・集積系区域

(略)

《工業集積ゾーン》

長伏・松本地区の一帯、国道 136 号西側の県道清水函南停車場線沿道並びに当該県道及び市道松本安久線に挟まれた大溝川左岸地区一帯については、工場、流通業務施設などの集積を図るとともに、住宅との混在状況の整序・改善を図っていきます。

(略)

